

Marshall

STUDIO JUBILEE

2525H & 2525C

ユーザー・マニュアル

MARSHALL.COM



マーシャル STUDIO JUBILEE アンプをお買い上げいただきありがとうございます。

STUDIO JUBILEEは、マーシャルの象徴的な2555 SILVER JUBILEEの音色と柔軟性をよりポータブルな形で提供します。スタジオや小規模スペースでのライブで、マーシャルの名高いサウンドによる演奏が可能となります。

演奏者のためにマーシャルが設計・製作したこの新しいアンプで演奏をお楽しみください。

マーシャルチーム

警告: 主電源に接続する前に、必ずアンプが電源に適合していることを確認してください。ご不明な点は、有資格技術者にお問い合わせください。最寄りのマーシャル代理店がお手伝いいたします。

主電源入力とヒューズ

アンプ用に内蔵されている電源入力定格は、アンプのリアパネルに表示されています。アンプには、脱着式の電源ケーブルが付属しています。この電源ケーブルは、アンプのリアパネルにあるMAINS INPUT (主電源入力) ソケットに接続してください。電源ヒューズの規定値とタイプは、アンプのリアパネルに表示されています。

ヒューズは決して迂回して接続しないでください。また、不正な値やタイプのヒューズは使用しないでください。

重要なセットアップ情報

1. アンプを1つまたは複数のスピーカーキャビネットと併せて使用する場合は、スピーカーキャビネットが正しいラウドスピーカーのジャックソケットに接続されていることを確認してください。

警告: 上記の指示に従わない場合、アンプが損傷するおそれがあります。スピーカーキャビネットをアンプに接続する際は必ず専用のケーブルをご使用ください。遮蔽 (シールド) ギターケーブルは決して使用しないでください。

2. POWER (電源) スイッチがオフになっており、STANDBY (スタンバイ) スイッチがSTANDBY (スタンバイ) になっていることを確認してください。

3. 最初にリアパネルのMAINS INPUT (主電源入力) に電源ケーブルを接続し、次にコンセントに差し込みます。

4. フロントパネルのMASTER (マスター)、VOLUME (音量) および/または

OUTPUT (出力) コントロールがゼロになっていることを確認してください。

5. フロントパネルのINPUT (入力) ジャックソケットにギターを接続します。

6. フロントパネルの電源スイッチを入れ、数分待ってから、

7. STANDBY (スタンバイ) スイッチを使用して20W / 5Wから選択します。

8. VOLUME (音量) を好みのレベルまで上げます。これで演奏の準備は完了です。

アンプを持ち運ぶ際のご注意

アンプを持ち運ぶ前に、必ずアンプのスイッチを切り、主電源からプラグを抜き、取外し可能なケーブルをすべての器材から外してください。

1.0 警告: 安全の手引き

ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みください。全ての注意書きに従い、警告を守ってください。

JCM25/50 Silver Jubileeシリーズは、Marshall Amplificationの25周年とジムマーシャルの音楽ビジネス歴50年を記念して1987年に製作されました。この高い評価を得たシリーズに端を発する2525Cと2525Hは、Silver Jubileeプリアンプの機能とデザインを低出力設計で融合しました。

2525H & 2525C

真空管

2 x ECC83、1 x ECC83 (フェイズスプリッター)、
2 x EL34

チャンネル

2 (分割)

電源コントロール

20Wまたは5W

スピーカー

1 x 12インチ
Celestion G12M-25 (16Ω、25W)
(コンボのみ)

イコライザー

トレブル、ミドル、バス、およびプレゼンス

スピーカー出力

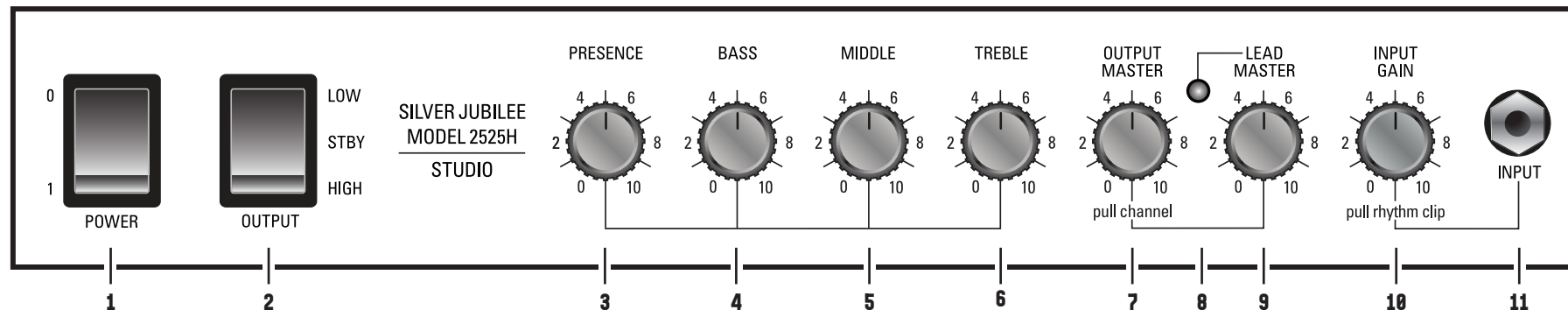
5 x 1/4インチ ジャックソケット
(16Ω負荷 / 8Ω負荷 / 4Ω負荷)

出力

DI出力

2.0 概要と仕様

2525H (COMBO SHOWN ON NEXT PAGE)

**1. POWER (電源)**

これはアンプの電源のオン/オフスイッチです。POWER(電源)スイッチを入れるとスイッチが赤く点灯します。

警告:アンプを移動するときは、必ず事前に電源スイッチを切り、主電源からプラグを抜いてください。

2. OUTPUT (出力)

アンプの電源は、LOW(低)に設定時は低電力モード(5W)、中央に合わせてSTANDBY(スタンバイ)に設定され、HIGH(高)に設定するとフルパワー(20W)となります。

STANDBY MODE(スタンバイモード):演奏を中断する場合は、アンプをフルパワーのままにしないでSTANDBYモードにしてください。電源を2分間オンにしてからスタンバイスイッチを使用してください。

3. PRESENCE (プレゼンス)

パワーアンプのHigh Frequencies(ハイフリースクエンス)を調節します。ハイフリースクエンスを上げると切れ味のよいサウンドになります。

4. BASS (バス)

アンプのLow Frequencies(ローフリースクエンス)を調節します。低音が強調され深みのあるサウンドになります。

5. MIDDLE (ミドル)

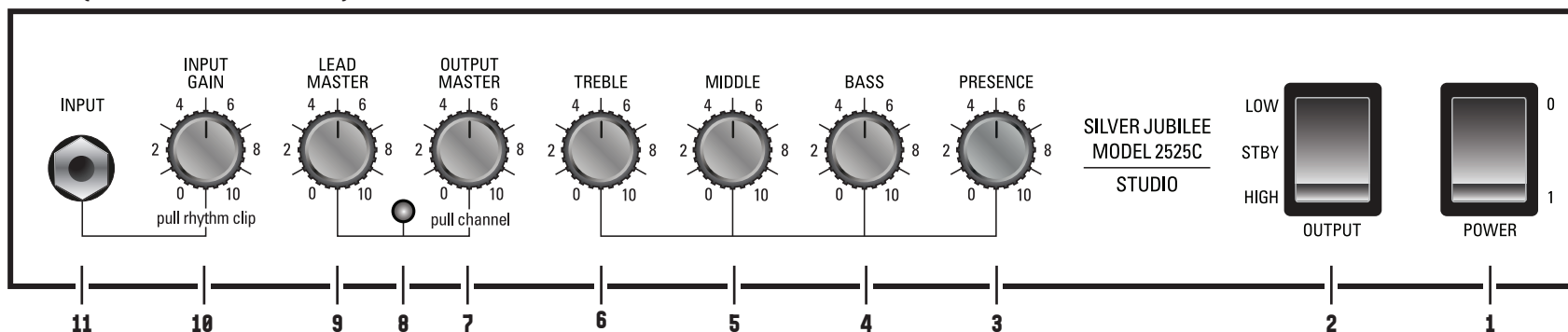
アンプのMid Frequencies(ミッドフリースクエンス)を調節します。重厚感のあるフルサウンドから迫力のあるトーンまで幅広く表現します。

6. TREBLE (トレブル)

アンプのUpper Frequencies(アップーフリースクエンス)を調節します。トレブルを上げるとサウンドがより明るくなります。

3.0 フロントパネルの機能

2525C (HEAD SHOWN ON PREVIOUS PAGE)



7.OUTPUT MASTER / LEAD CHANNEL (出力マスター/リードチャンネル)

出力マスターコントロールは、電源ステージまでのプリアンプセクションの出力を調節します。

リードチャンネルは、フットスイッチ (付属の PEDL-90003) で選択します。チャンネルは、出力マスターコントロールのプッシュ/プル機能でも切り替えられます。リードチャンネルに加えるゲイン量は、INPUT GAIN (入力ゲイン) コントロール (「フロントパネル機能」の10) で調節できます。

8.LEAD CHANNEL LED (リードチャンネルLED)

リードチャンネルを選択すると、LEDインジケータが赤く点灯します。

9.LEAD MASTER (リードマスター)

リードチャンネルがアクティブなとき (「フロントパネルの機能」の7)、LEAD MASTER (リードマスター) コントロールでリードチャンネルの出力レベルを調節します。

10.INPUT GAIN (入力ゲイン)

入力ゲインは、入力回路全体の感度を調節します。入力ゲインは、クリーン/クラッチリズムクリップモードとリードチャンネルのゲインレベルを制御します。プルスイッチで、リズムクリップモードが起動し、より重厚で駆動されたトーンが得られます。

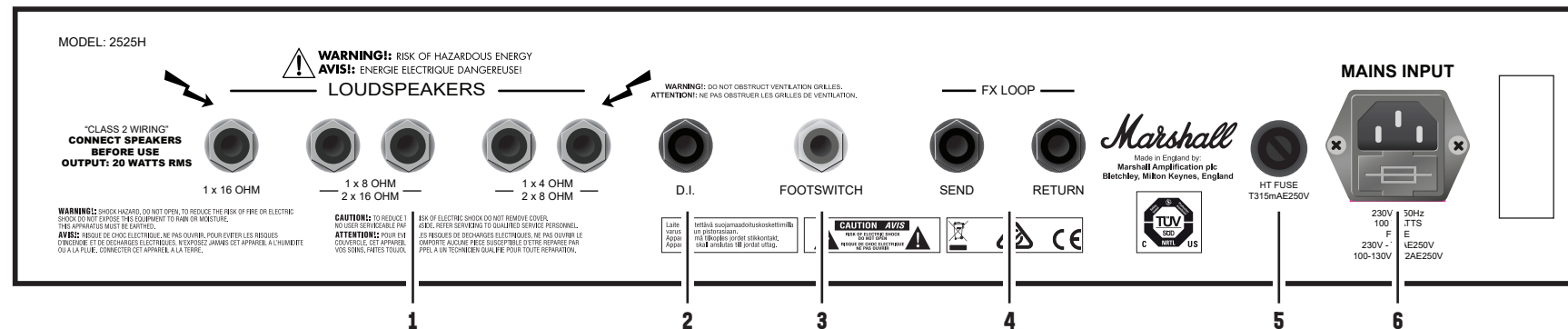
注意: リズムクリップモードを選択したときにボリュームが明らかに低下する場合は、出力マスター (「フロントパネルの機能」の7) のレベルを上げれば解決できます。

11.INPUT (入力)

このジャックソケットでギターをアンプに接続します。

3.0 フロントパネルの機能 (続き)

2525H (COMBO SHOWN ON NEXT PAGE)



1. LOUDSPEAKERS (ラウドネススピーカー)

5つのスピーカー出力を使用できます。これらは1/4インチ ジャックソケットです。これらの出力には、目的のインピーダンスに応じてラベルが付けられています：

- 16Ω: 16オームギターキャビネットは、このジャックに接続します。
- 8Ω: 単一の8オームギターキャビネットまたは2つの16オームキャビネットを接続します。
- 4Ω: 単一の4オームギターキャビネットまたは2つの8オームギターキャビネットを接続します。

警告: アンプにはスピーカー出力が5つありますが、定格を超える台数のスピーカーの接続を試みないでください。安全な組み合わせは次のとおりです：1 x 16オーム、1 x 8オーム、1 x 4オーム、2 x 16オーム、または2 x 8オーム。これ以外のスピーカー構成は、パワーアンプ部に負担がかかり、極端な場合、真空管および/または出力トランスの故障につながるおそれがあります。

2525をスピーカー負荷なしで決して使用しないでください。

2. DI OUTPUT (DI出力)

DI出力を使用して、録音機器やサウンドデスクへ接続できます。

メモ: DIを使用すれば、スピーカーの接続が不要であるわけではありません。「リアパネルの機能」の1の警告を参照してください。

3. FOOTSWITCH (フットスイッチ)

ここにチャンネルフットスイッチを接続します (付属のPEDL-90003)。

4. FX LOOP (FXループ)

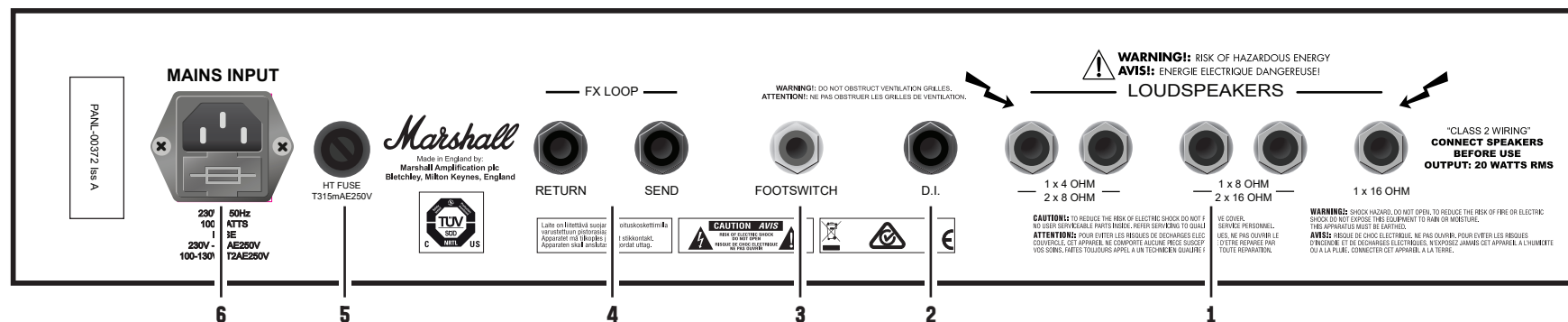
シリーズFX LOOP (FXループ) は、アンプを外部FX (公称レベル-10dBV) に接続します。SEND (送信) ジャックソケットは、外部FXユニットの入力に接続し、リターンジャックソケットは、外部FXユニットの出力に接続します。

メモ: SEND (送信) ジャックソケットで、外部パワーアンプに接続できます。ただし、これにより、スピーカーをアンプの出力ステージに接続しなくてすむわけではありません。「リアパネルの機能」の1の警告を参照してください。

リターンで外部プリアンプに接続できます。

4.0 リアパネルの機能

2525C (HEAD SHOWN ON PREVIOUS PAGE)



5. HT FUSE (HTヒューズ)

パネルマウントのヒューズホルダーを開けると、切れたヒューズを交換できます。必要に応じて、HT FUSE (HTヒューズ) が切れて、内部回路を保護します。HT FUSE (HTヒューズ) は、場合によっては出力管に不具合がある場合に切れることもあります。

メモ: ヒューズは、必ずリアパネルに記載された値のものと同様に交換してください。ヒューズを交換する前に必ずアンプの電源を切り、アンプの電源ケーブルを主電源から抜いてください。ご不明な点は最寄りのマーシャル代理店までご相談ください。

6. MAINS INPUT (主電源入力)

アンプを電源に接続します。

メモ: MAINS INPUT (主電源入力) ソケットには一体型のヒューズボックスがあります。交換ヒューズの値が、アンプのリアパネルのラベルに表示されている値と同じであることを確認してください。ヒューズボックスを開ける前に、必ず電源スイッチを切ってから主電源を切り離してください。ご不明な点は最寄りのマーシャル代理店までご相談ください。

4.0 リアパネルの機能(続き)

本書の内容は出版時に正確であることを期していますが、常に改善と進歩を目指すポリシーにより、MARSHALL AMPLIFICATION PLCは、事前の予告なく仕様を変更する権利を留保します。

MARSHALL AMPLIFICATION PLC,
DENBIGH ROAD,
BLETCHLEY, MILTON KEYNES,
MK1 1DQ, ENGLAND.

電話: +44 (0) 1908 375411

MARSHALL AMPLIFICATION PLC
イングランドで登録されています
登録番号: 805676

The Marshall logo is displayed in a white, cursive script font, centered within a solid black square. The word "Marshall" is written in a classic, flowing style with a capital 'M' and a lowercase 'a'.